

「全国植樹祭」の本県への招致について

林業環境政策課

全国植樹祭の概要

- 天皇・皇后両陛下がご臨席される**四大行幸啓**の一つ。
- 国土緑化運動の中心的行事として、毎年春に各都道府県の持ち回りで開催。
- 行事内容・両陛下のお手植え、お手播き
 - ・招待者による記念植樹
 - ・緑化功労者の表彰 等



第73回全国植樹祭（岩手県大会）の様子（出典：全国植樹祭岩手県大会HP）

高知県の過去の開催概要

- 大会名：第29回 全国植樹祭
- 開催日時：昭和53年5月21日
- 開催場所：香美郡土佐山田町（現香美市土佐山田町）
県立南喜ヶ峰森林公園
- 大会規模：参加者 約10,800人 植樹本数 約10,000本



高知県への招致について

- 全国植樹祭は70回を超え、本県の前回開催（昭和53年）から**40年以上が経過**し、森林資源は充実。
- これからの国土緑化運動は「伐って」「使って」「植えて」「育てる」という森林資源の循環の中で、**公益的機能**を発揮するための**機運醸成**が必要。
- 本県においては**再造林推進プラン**の策定を踏まえ、「伐って」「植える」ことを定着させる必要がある。

⇒**令和10年度に本県に招致する（50年ぶり）ため、（公社）国土緑化推進機構へ5月27日に開催申し出を行った**

令和6年2月に知事が招致を表明



今後のスケジュール（案）

年度	R 6（4年前）	R 7（3年前）	R 8（2年前）	R 9（1年前）	R 10（開催年）	
主要な動き	・開催県内定（8月頃） ・「基本構想」策定（3月頃）	・開催県決定 ・開催会場決定	・「基本計画」承認	・開催日決定 ・「実施計画」承認	開全 催国 植樹 祭	
大会実施 組織体制	準備委員会 （令和6年9月第1回開催） 年度内に3回開催	実行委員会				実施本部
各種計画の検討・策定	基本構想 開催理念、開催方針（人数等の開催規模やシンボルマーク、ポスター原画の選定方法、開催候補地）、式典行事や会場整備等の基本的な事項を定めるもの（基本計画作成の指針）	基本計画 基本構想に基づき、開催概要、式典演出構想、会場整備計画等を定めるもの（主に以下を内容とする） ◆開催概要：大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画の選定や開催規模（参加者の区分別）等 ◆式典行事計画 ◆植樹行事計画 ◆会場整備計画 ◆運営計画 ◆広報・協賛計画 ◆宿泊輸送計画 ◆荒天時計画 ◆記念事業計画 等				実施計画 基本計画に基づき、式典演出や運営方法等の詳細な計画を定めるもの 運営マニュアル策定
関連事業等	◆苗木のスクールステイ・ホームステイ（苗木育成）実施 ◆森林ボランティア育成、活性化 ◆専用HP開設 ◆市町村関連イベント実施（機運醸成） ◆広報（チラシ、動画、新聞、ラジオ等） プレイベントの開催					全国林業後継者大会

【参考】全国植樹祭 先催県の超過課税充当状況

資料 3 - 2

植樹祭の主な経費構成(参考)	
① 先催県調査、情報収集	先催県で実施する植樹祭や後催県を指導する会議への出席費用等
② 準備委員会費	準備委員会委員への謝金や事務費
③ 計画作成費	基本計画、実行契約等、全国植樹祭の方針を定める計画の作成費用
④ 式典会場等調査費	全国植樹祭の式典等を行う会場について調査を行う費用
⑤ 植樹関係費(苗木のホームステイ等含む)	苗木の購入費や、苗木の貸し出し、育成等の費用
⑥ 広報啓発費	関連イベントの開催費用や広報等のPR費用
⑦ 実行委員会事務局、県事務費	全国植樹祭を開催するにあたり要する事務費
⑧ 会場整備費	式典会場、植樹会場等の整備を行う費用
⑨ 会場設営費	会場の設営や会場に設置する木製品の製造、購入費
⑩ 宿泊・輸送費	宿泊輸送計画の作成や記念品、弁当等の管理、招待者等の輸送、宿泊管理費用
⑪ 式典運営費	式典の運営や招待者をもてなす広場の設営、運営費、歓迎レセプションの開催費用

	滋賀県(R4開催)	岩手県(R5開催)
超過課税(高知県における森林環境税)の税率	(個人)年額800円 (法人)法人県民税均等割額の11%相当額	(個人)年額1,000円 (法人)法人県民税均等割額の10%相当額
税收の規模	約6.7億円	約7億円
全国植樹祭への 充当の考え	全国植樹祭の開催を通じ、森林・林業や農山村に対する意識醸成、県産材の利用促進、将来を見据えた持続可能な森林づくりなど、県民一丸となって森林を「守る」「活かす」「支える」取組に活用	全国植樹祭の開催(令和5年)及び開催に向けた様々な機運醸成の取組を通じて森林の役割や重要性、県民税の趣旨や取組をPRする取組に活用
充当内容	○会場設営等準備 ○PRイベントの実施 ○苗木のホームステイ・スクールステイ ○広報啓発等	○全国植樹祭の開催機運の醸成 例1)「第73回全国植樹祭1年前記念イベント」等の実施(令和4年度) 例2)全国植樹祭公式ホームページ・Twitterでの情報発信 ○全国植樹祭の開催 例)陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園に加え、盛岡市、北上市、久慈市の県内3カ所にサテライト会場を設置 ○県産木材の積極的利用 例)「お野立所」や「木製ベンチ」、「木製プランターカバー」、「ウェルカムボード」などを製作・設置し、県産木材の利用促進と普及啓発を実践 ○記念誌・記録DVDの作成

出典

琵琶湖森林づくりガイド 2021、2022

いわての森林づくり県民税事業評価委員会 会議資料